

資料 16 道路等整備設計要領

1. 基本事項

- (1) 「開発許可制度 申請手続きの手引（恵庭市）」、「恵庭市宅地等開発行為に関する指導要綱（恵庭市）」、「都市計画法による開発許可制度の手引（北海道）」、「恵庭市道路管理規定（恵庭市）」、「恵庭市道路掘削及び路面復旧工事要綱（恵庭市）」、「道路構造令（国土交通省）」等を遵守すること。
- (2) 道路整備及び改良舗装整備に際しては、事前に市の関係する部局、公共施設管理者、関係公安機関と十分に協議を行うこと。
- (3) 敷地が接する道路の幅員は 8m とし、現状が 8m に満たない部分は 8m となるよう拡幅整備すること。

2. 道路の仕様

- (1) 市営住宅周囲の道路は、歩行者が安心・安全に通行できるよう配慮した仕様とすること。
- (2) 冬季間において堆雪等により車道の縮小を余儀なくされている当市の実情を鑑み、施設帯を除いた部分の全てを舗装整備すること。
- (3) 道路の排水方式は、下水道整備との兼合から管渠によることが基本となるため、路面排水の処理は導水縁石等と雨水桝によること。よって、導水縁石等の幅と電柱の径または汚水桝の径の内大きい方との合計以上を施設帯とし、の濃い部分を舗装するものとするが、その単位は 25 cm 刻みとすること。
- (4) 交通の安全上からセンターラインを施すものとする。
- (5) 沿道の車両出入りが多く、歩道舗装の端部(民地側)を破壊する恐れのある路線については、舗装止石を設置することができるものとする。この場合において、舗装止石は歩道幅に組込むものとし、設置の位置は、原則として民地の仕切り界とすること。
- (6) 設計条件及び道路構造については、表 1 及び図 1 のとおりとすること。ただし、平成 18 年 2 月、社団法人・日本道路協会発行の「舗装設計便覧」等によるものとする場合は、その内容について建設部管理課と協議の上、承諾を得ること。
- (6) 舗装材料及び路盤材料の規格については、北海道建設部建設管理局技術管理課監修の「土木工事共通仕様書」によるものとし、内容について建設部管理課と協議を行うこと。
- (7) 道路土工の設計等については、社団法人・日本道路協会が発行する「道路土工指針」によることを基本とするが、これによることが不合理であることや特殊なものにあってはこの限りでない。

表 1 設計条件

構造規格	設計速度	総幅員	道路 中心 位置	左側		右側			交通区 分
				施設帯	舗装幅			施設帯	
	路肩	車道	路肩						
	k m/h	m	m	m	m	m	m	m	
第4種4級	30	8.00	用地中心	0.75	0.50	5.50	0.50	0.75	N1

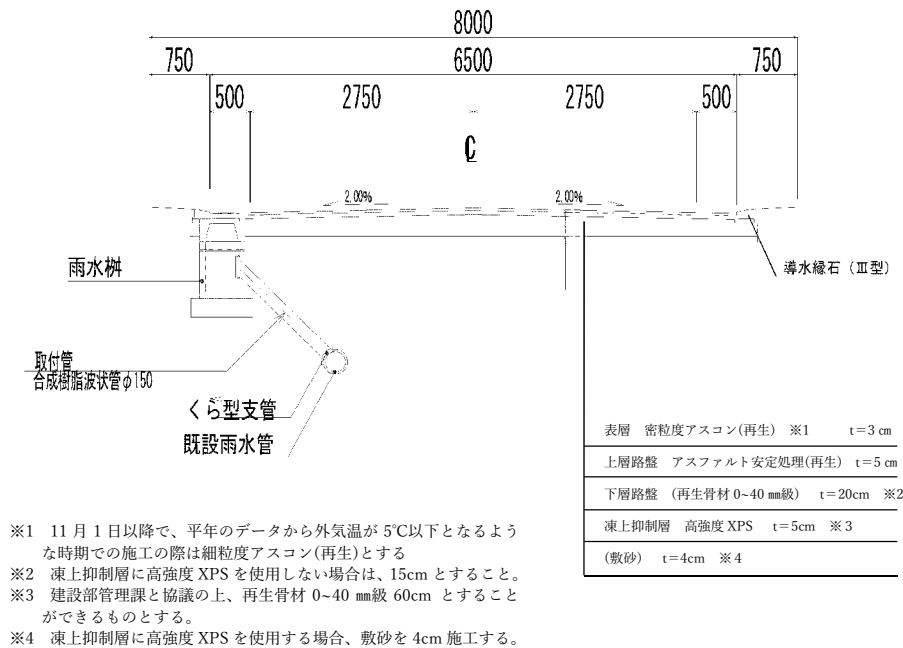


図 1 道路定規図

3. 道路整備の留意点

本事業では、市営住宅及び付帯事業用地のそれぞれで完成時期が異なるため、下記に留意し、適切に申請手続等を行うこと。

- (1) 本事業では、道路整備等の開発工事が完了する前に、市営住宅の建設を開始するため、都市計画法第 29 条に基づく開発許可と併せて、同法第 37 条に基づく承認を得ること。
- (2) 建築基準法第 6 条に基づく申請に先立ち、道路整備工事を完了する必要があるため、適切に工区設定を行って工事を実施し、工区毎に完了検査を受けること。

4. 道路整備後の移管

分譲住宅用地内において、新たに道路を整備した場合においては、道路整備部分を市に移管すること。